

大阪府太子町 「地域連携サポートプラン」

提 案 書



平成31年3月

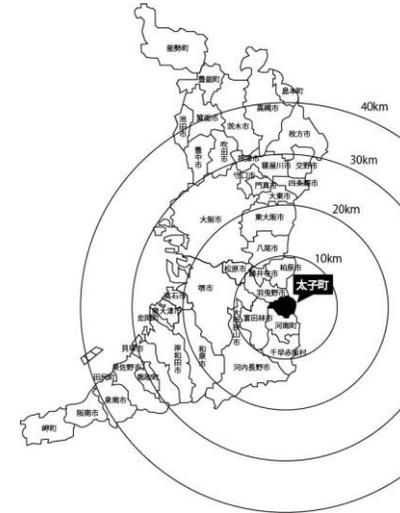
国土交通省  
近畿運輸局  
近畿運輸局大阪運輸支局

# 大阪府太子町の概要、公共交通に関する主な取組

## 町の概要

### 概況

- 太子町は、大阪府の東南部に位置し、北を羽曳野市、西を富田林市、南を河南町に接し、また東は金剛生駒紀泉国定公園となる金剛・葛城の山々を介し、奈良県の香芝市、葛城市と接している。
- 町の主要道路は、東西方向に南阪奈道路、国道166号線及び府道32号線が通っており、大阪市中心部から約20kmの距離にある。
- 人口は平成2年からの10年間は府内でも有数の人口増加を示したが、平成17年の14,483人をピークに減少している。高齢化率は年々増加しており、平成27年には26%となっている。
- 町内には叡福寺、聖徳太子御廟など聖徳太子ゆかりの施設を始め、推古天皇陵などの陵墓、竹内街道、二上山などの歴史的資源が集積している。



人口：13,474人  
面積：14.17km<sup>2</sup>



太子町  
マスコットキャラクター  
たいしくん

## 公共交通に関する主な取組

### ◆基本方針・計画・体制

H28	第5次太子町総合計画策定
H29	太子町地域公共交通検討委員会設置
H29	太子町都市計画マスタープラン改訂
H30	太子町地域公共交通会議設置
H31	地域公共交通網形成計画策定

### ◆取組

H26	予約型乗合ワゴン試験運行開始
	総合福祉センターバス運行開始



金剛バス



予約型乗合ワゴン



総合福祉センターバス

## 公共交通の現況

### ① 鉄道・路線バス

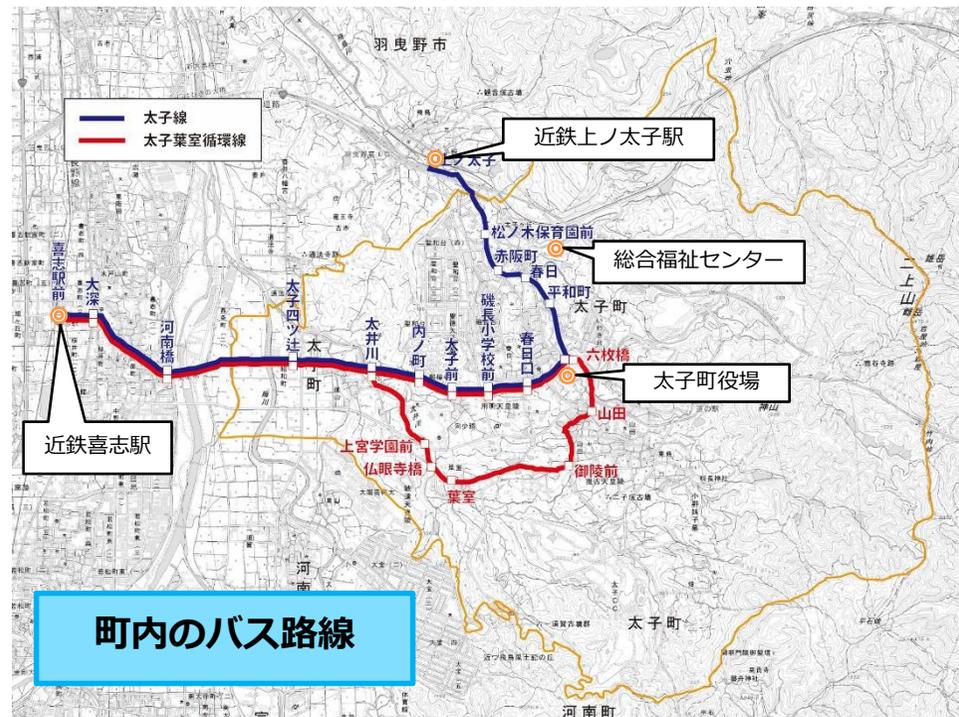
- 町内に鉄道駅はなく、最寄駅は近鉄南大阪線の上ノ太子駅（羽曳野市）または近鉄長野線の喜志駅（富田林市）となっている。
- 路線バス（運行事業者：金剛自動車株）が町内で2系統運行を行っており、住宅地と町中心部、鉄道駅など主要施設を結ぶ住民の重要な交通手段となっている。
- 運行本数は太子線が平日17往復、土日祝13往復、太子葉室循環線が平日25往復、土日祝24往復となっている。
- 町から運行費等の補助は行っていない。

### ② 予約型乗合ワゴン

- 高齢者の外出支援を目的として、平成26年度より65歳以上の高齢者を対象に運行を開始。
- 運行本数は1日7便。運行日は平日のみで、町内に58カ所の停留所があり、運行エリアは町内全域となっている。
- 運賃は無料。利用者は事前に利用者登録、予約を行う必要がある。

### ③ 総合福祉センターバス

- 総合福祉センターの利用者のみを対象に町内全域にて運行している。
- 運行本数は1日5便で、運行日は水曜日を除く平日。町内に22カ所の停留所があり、定時定路線型の運行を行っている。
- 運賃は無料。



町内のバス路線

#### <主な交通モード>

- 鉄道・・・なし（町外に喜志駅および上ノ太子駅）
- 民間バス路線・・・金剛自動車株式会社：2系統
- その他・・・予約型乗合ワゴン、総合福祉センターバス

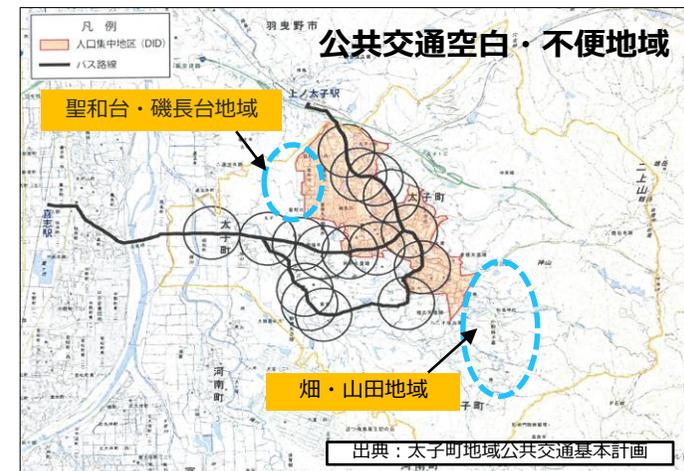
## 課題

- ① 公共交通空白・不便地域における移動手段の確保
- ② 路線バスと福祉関係輸送サービスの役割の整理
- ③ 地域住民の公共交通の利用啓発および観光振興と連携した利用促進策の展開

## 課題①

## 公共交通空白・不便地域における移動手段の確保

- 路線バスは、役場を中心として近鉄南大阪線の上ノ太子駅と近鉄長野線の喜志駅とを結んでおり、町内の中央部・北部・西部は充実しているが、北西部（聖和台・磯長台地域）および南東部（山田・畑地域）については公共交通空白・不便地域となっている。
- 「聖和台・磯長台地域」は、周辺道路が整備されており、町内においても人口集中度が非常に高い地域であるが、鉄道駅をはじめとする主要施設への公共交通手段はなく、地域住民の足を確保することが課題である。
- 「畑・山田地域」は、町内で最も高齢化率が高く、今後はさらに高齢化が進むと予想されている地域である。当該地域は、狭隘道路と急峻な坂が多く、中型および大型車両の乗り入れが難しい等、抱える課題は多い。
- 平成30年3月に策定された「太子町地域公共交通基本計画」では、今後、鉄道駅と役場を結ぶ路線を「基幹交通」、公共交通空白・不便地域と「基幹交通」を結ぶ路線を「支線交通」として位置づけることが計画されている。しかし、現状において基幹交通と支線交通を繋ぐ拠点はなく、拠点の整備が目下の課題である。



# 課題①解決に向けた提案(大阪府太子町)

## 課題①への提案

### 聖和台、磯長台地域

- 太子中央線を活用し、鉄道駅や役場等をつなぐ路線バスの運行を検討することは有効。ただし検討にあたり、下記の点に留意する必要がある。
  - 既存系統（太子線、太子葉室循環線）とのバランスや利便性を考慮した、**交通事業者との丁寧な協議が必要。**
  - 路線維持には地域住民の利用が必要不可欠であることから、**路線の目標設定や町・地域住民参画型の利用促進策の展開についても一体的に考える**必要がある。

### 畑・山田地域

- 高齢化率が非常に高く、中型・大型車両の乗り入れが難しい地域であることを考慮した上で、**既存の福祉関係輸送サービスの再編を視野に入れ、下記の点に留意し、地域のニーズに即した公共交通網を検討**することが重要である。

【必要性】買い物や通院といった日常生活に不可欠な**地域を支える移動手段の確保。**

【利便性】**複数の交通モードを一体の交通サービスとして考える**、シームレスな地域公共交通の提供（待合空間の充実、相互間のダイヤ調整など）

【効率性】町内各地域の需要を見据えた交通モードの選択

- ・定時定路線の場合：朝夕のみ、土日祝運休など
- ・デマンド運行の場合：区域運行、定路線（固定、非固定）など

### 基幹交通と支線交通をつなぐ交通拠点の整備

- 網形成計画において乗換拠点として位置づけられている**役場周辺の停留所の整備は重要**であるが、現状の敷地面積に限りがあり、かつ待合施設としての設備不足（上屋・ベンチ他）などの課題もあり、一例として役場敷地内への停留所移設は中長期的には検討の余地がある。  
この場合、役場敷地内に建設予定である太子町生涯学習施設をバス待ち空間として利用することも考えられ、**町民の交流の場として活用**することにも繋がる。



六枚橋 停留所



役場へのバス乗り入れ事例（亀岡市役所）



# 課題②について（大阪府太子町）

## 課題②

### 路線バスと福祉関係輸送サービスの役割の整理

- 町内には福祉関係輸送サービスとして予約型乗合ワゴン、総合福祉センターバスが無償で提供されているが、交通事業者が運行する路線バスと運行エリアが重複しており、**役割分担が明確化されていないため、効率的な運行を目指す必要がある。**
- なお、効率的な運行を実現することで、**財政負担の軽減に資することも期待**できる。



## 課題②への提案

### 路線バスと福祉関係輸送サービスの役割分担の整理

- 路線バスと福祉関係輸送サービスの役割分担を整理し、他の交通モードを含めて、町として運行可能なサービス水準（目的や採算面等）をしっかりと議論し、定めることが重要。
  - それぞれの移動手段について、**町民の利用実態に応じた丁寧な説明が必要。**
  - **福祉部局との協議・連携は必要不可欠**であり、中長期的にみて**持続可能な公共交通のために十分な議論が庁内全体で必要。**
- 各交通モードが役割分担することにより、運行の効率化が図られることが考えられ、その他の課題解決に向けた取組推進につなげることもできる。

**持続可能な公共交通網構築には、路線バスと町の提供する福祉関係輸送サービスが相互に補完し合う最適な組み合わせを目指すことが極めて重要である。**

## 課題 ③

## 地域住民の公共交通の利用啓発及び観光振興と連携した利用促進策の展開

- 約9割の住民が移動について自家用車に依存しており、**住民の公共交通に関する意識の醸成が喫緊の課題**となっている。また、町や交通事業者による利用促進等の取組は実施されておらず、課題は非常に多い。
  - 町内の公共交通に関する案内は交通事業者のみとなっていることから、**交通事業者と連携し**、鉄道駅での利用案内やホームページ等での案内を含め、**公共交通に関する情報発信を実施することは非常に重要**である。
  - 第5次太子町総合計画との整合性を図りながら、町の限られたリソースの中で「まちづくり」「福祉」「観光」等の視点を持ち、利用促進の取組を展開することが重要。
- 町内には、2021年に「聖徳太子没後1400年」を迎える聖徳太子御廟、日本遺産に指定された竹内街道、二上山など歴史と自然に恵まれた数多くの観光資源が全域に点在しているものの、案内に公共交通に関する情報が不足するなど、**「観光」と「交通」の一体的な取組が必要**である。



近鉄喜志駅停留所



観光資源の立地状況

# 課題③解決に向けた提案(大阪府太子町)

## 課題③への提案

### 町全体で支える公共交通という意識の醸成

- 公共交通は利用者だけでなく町全体で支えなければいけないという意識を醸成するためには、町の公共交通の現状や抱えている課題、検討している取組み等を地域説明会やワークショップ、シンポジウム等を通じ、**町・交通事業者・住民で情報共有し、連携・協働することが大切**である。
  - 依存度の高い自家用車から公共交通への利用転換に繋げるため、広報誌によるPRや町・地域主催のイベント、教育機関と連携した社会見学等を通じた**モビリティ・マネジメントの実施やワークショップの開催が有効**である。  
【参考】バスに乗ろうよ！スタンプラリー（千葉県香取市）
  - 町内を運行する「太子線」「太子葉室循環線」の路線図、時刻表、運賃及び鉄道駅や主要施設（商業施設や役場等）の時刻表を中心とした、**利用者（住民）目線で必要な情報を分かりやすくまとめた公共交通マップの作成・配布**が望ましい。  
※作成にあたり、ワークショップの機会などを利用し、**住民の参画を促す**ことも重要。



▲ワークショップの様子

### 公共交通を利用しやすい環境整備

- WEBや公共交通マップ等による情報発信だけでなく、**停留所での情報発信も非常に重要**である。町内外問わず、利用者が一目見て情報（時刻、経路図、運賃、所要時間、乗り方、支払い方法等）を取得できるよう、停留所を整備することも検討されたい。それに合わせて、**町内主要施設（商業・観光施設等）の協力を得た情報発信等も有効**である。

### 観光と交通の一体的な利用促進

- 2021年開催予定である「聖徳太子没後1400年イベント」をはじめ、数多くある**観光資源へのアクセスに公共交通を掲載**することは、町外からの観光客の利用促進に繋がり、非常に有効。住民だけでなく観光客を含めて、公共交通の利用者を増やすことが、町内の公共交通の維持・確保に繋がる。
- 既存**停留所の観光資源にちなんだ名称への変更**や、**交通事業者・寺社・教育機関等と連携したイベントの開催**等は、観光客の呼び込みや公共交通の利用を促すことに効果的である。



▲対象 市内在住の小学生・小学生・中学生  
 ※付人数10人以上2人まで(乗車の申し込みは不可)  
 ▲期間 2月23日～3月10日 毎週土曜日・日曜日  
 ▲内容 佐原駅や佐原神宮などを循環運行している佐原循環バス(両端ルート)に乗ってスタンプとキーワードをそろえることができた参加者に景品(図書カード)をプレゼント  
 ※景品は抽選で10名程度  
 ※バスが1日1往復運行  
 ※バスが1日1往復運行(参加者全員)と施設関係者(中学生以下入場無料・大人1施設のみ無料)を配布  
 ▲定員 60名(先着順)  
 ▲参加費 無料  
 ▲参加申し込み 2月1日(金)から2月19日(水) 平日の9時～17時(予定)  
 電話で申し込み受付 0478-1206  
 ※2月23日(土)～3月10日(日) 毎日10時～17時  
 ▲景品申し込み 3月18日(月)までにスタンプ台紙を佐原駅前観光案内所又は企画課まで持参する。郵送の場合は企画課まで。  
 ○のり合わせ  
 企画課 佐原駅前観光案内所 企画課 企画課 企画課  
 〒285-0811 香取市香取3-2127 8階  
 電話 0478-50-1206

▲千葉県香取市の取組例

# 協定締結から提案に至るまでの取組(大阪府太子町)

- |             |   |
|-------------|---|
| 平成30年 6月27日 | 太子町との打合せ・現地調査<br>(町の考える交通網や課題を確認)             |
| 平成30年 7月13日 | 地域連携サポートプラン協定締結                               |
| 平成30年 8月12日 | 太子町地域公共交通シンポジウム                               |
| 平成30年 8月23日 | 金剛自動車(株)との意見交換<br>(既存路線の現状や新規系統の可能性等について意見交換) |
| 平成30年 9月12日 | 太子町との打合せ<br>(具体的再編案等について意見交換)                 |
| 平成30年11月27日 | 太子町との打合せ<br>(課題解決に向けた意見交換)                    |
| 平成31年 3月28日 | 地域連携サポートプラン提案書交付                              |

